

岸和田市役所新庁舎建設地の決定に係る建設候補地の客観的評価結果

評価項目			評価						評価結果				
大項目	評価満点	内訳点	中項目	評価内容	ページ番号	内訳		得点		得点率			
						候補地A (福祉総合センター敷地)	候補地B (現庁舎位置)	候補地A (福祉総合センター敷地)	候補地B (現庁舎位置)	候補地A (福祉総合センター敷地)	候補地B (現庁舎位置)		
防災性 (安全性)	25	10	災害時における安全性	地震により市庁舎建物に受ける被害(上町断層帯地震想定)	p.1	○	○	18,375	15,375	74%	62%		
				津波により市庁舎周辺地域に受ける被害(南海トラフ最大想定)	p.2	○	△						
				液状化により市庁舎周辺地域に受ける被害(南海トラフ最大想定)	p.3	△	×						
				内水氾濫の危険性	p.4	○	△						
				洪水・土砂災害の危険性	p.5	○	○						
	災害時における安全性の総合評価						9,00	6,00					
	15	防災拠点 (災害対策の中心拠点)	災害時のアクセス性(緊急交通路への接続)	p.6	○	○	16,666	15,833	83%	79%			
			災害復旧拠点としての余剰スペース確保の可能性	p.7	△	○							
			災害時に連携が必要な他公共機関の立地状況	p.8	△	×							
災害時のライフラインの復旧の容易性			p.9	△	△								
防災拠点としての総合評価						9,375	9,375						
利便性	20	10	都市機能の集積	他公共機関の立地状況	p.10	○	△	10,000	7,500	15,000	20,000	75%	100%
				市域全体から見た市庁舎の位置	p.11	○	○						
	都市機能の集積の総合評価												
	10	交通アクセス	公共交通機関の充実度(交通結節点)	p.12	○	△	6,666	8,333	2,000	8,500	20%	85%	
			公共交通機関の充実度(バス)	p.13	○	○							
			自動車による入出庫の容易性	p.14	×	○							
交通アクセスの総合評価													
まちづくり	20	10	地域性	関連計画等との整合性	p.15	○	○	5,000	10,000	15,000	20,000	75%	100%
				地域性の総合評価									
環境への影響	10	3	工事中の周辺への影響	振動、騒音等対策の必要性	p.17	×	△	0,000	1,500	2,000	8,500	20%	85%
				工事中の周辺への影響の総合評価									
		3	庁舎完成後の周辺への影響	庁舎の整備が昼間人口に与える影響	p.18	×	○	0,000	3,000	2,000	8,500	20%	85%
				庁舎完成後の周辺への影響の総合評価									
経済性 (実現性)	25	10	事業費	庁舎整備に関する事業費	p.20	×	△	0,000	5,000	15,000	7,500	60%	30%
				事業費の総合評価									
		5	敷地条件	設計の自由度	p.22	○	△	5,000	2,500	5,000	7,500	60%	30%
				敷地条件の総合評価									
5	建設候補地に係る不確定要因	埋蔵文化財等の不確定要素による事業リスク	p.23	○	×	5,000	0,000	5,000	7,500	60%	30%		
		建設候補地に係る不確定要因の総合評価											
5	事業期間	事業期間の長期化によるコスト増リスク	p.24	○	×	5,000	0,000	5,000	7,500	60%	30%		
		事業期間の総合評価											
総合評価	100	総合評価について 大項目、中項目の配点については、第1次で設定した内容と同様とし、各項目(小項目)は○=1.0 △=0.5 ×=0を評価指数として以下の方法で評価する。「中項目の評価点=中項目の配点/小項目の数×小項目の評価指数合計」 なお、小項目の評価指数については、小数第4位を四捨五入することとした。 評価例)中項目「災害時における安全性」(配点10点 小項目5つ)において、各評価内容の配点は均等割で、10点÷5=2点である。 評価が、○3つ、△1つ、×1つだった場合、(2点×1.0×3つ=6点)+(2点×0.5×1つ=1点)+(2点×0.0×1つ=0点)=7点が中項目の点数となる。						67.041	67.208	67%	67%		

